

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	一般教養B2		
<b>科目基礎情報</b>						
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期 後期		
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 30時間		
単位数	2単位			授業形態 講義		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。					
<b>担当教員情報</b>						
担当教員	畠 雅代	実務経験の有無・職種	なし			
<b>学習目的</b>						
特に放送業界報道業務、あるいはドキュメンタリー制作バラエティ制作においては海外での撮影の機会が発生しうる。最低限英語でのコミュニケーションが取れることは非常に有益であり、日常的な会話にとどまらず専門的な（映像では常識的な）会話を習得することを目的とする。						
<b>到達目標</b>						
日常会話検定の合格を目標とする。撮影時のやり取りなどに特化したテキスト、試験の実施。						
<b>教育方法等</b>						
授業概要	この授業では、文法ではなく、単語の羅列であっても会話を前提としたトレーニングを行う。					
注意点	教員は、学生の勇気をもって発言した内容を否定しない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	100%	資格試験の実施			
	小テスト	0%				
	レポート	0%				
	成果発表 (口頭・実技)	0%				
	平常点	0%				
<b>授業計画（1回～15回）</b>						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	資格と授業の説明	日常的な会話力を身につけることを目的とすることを理解する				
2回	あいさつ 日常的な会話	オーソドックスな中でのバリエーションや端折り方を学ぶ				
3回	静止画、動画の撮影許諾	人物の肖像の許諾、場所の許諾、映り込みの許諾、撮影のお邪魔などなど				
4回	撮影現場でのやり取り ①	専門的な言葉、言い回し、流儀を学ぶ				
5回	撮影現場でのやり取り ②	カメラ、照明、音声における専門的な言葉などを学ぶ				
6回	撮影現場でのやり取り ③	俳優とのコミュニケーションを学ぶ				
7回	休憩など食事シーン	様々な食事の場面を想定し、言い回しを学ぶ				
8回	編集現場でのやり取り ①	特に使用する機材の名称などを学ぶ				
9回	編集現場でのやり取り ②	作業における定型句含めた言葉の定型表現を学ぶ				
10回	編集現場でのやり取り ③	作業における定型句含めた言葉の定型表現をさらに学ぶ				
11回	日常的な屋外でのやり取り①	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ①				
12回	日常的な屋外でのやり取り②	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ②				
13回	日常的な屋外でのやり取り③	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ③				
14回	日常的な屋外でのやり取り④	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ④				
15回	まとめ・総括	ここまで内容の確認を行う				